

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回川越市医療問題協議会
開催日時	令和元年11月6日(水) 14時00分 開会 ・16時00分 閉会
開催場所	川越市保健所 2階 大会議室
議長(委員長・会長)氏名	藤田龍一委員
出席者(委員)氏名(人数)	藤田龍一委員、増田俊和委員、廣澤光昭委員、小川俊夫委員、天野勉委員、堤晴彦委員、高田栄子委員、崎田一美委員、松永ちわ委員、船津和信委員、長峰す美子委員、栗原瑞治委員、柿田有一委員、川口啓介委員、大泉一夫委員(15名)
欠席者(委員)氏名(人数)	得丸幸夫委員、小室万里委員、近内晴美委員、岸田隆委員(4名)
事務局職員等職・氏名	神田宏次保健医療部長、丸山浩保健所長、村川満佐也保健所副所長、戸田浩美保健所副所長兼衛生検査課長、野口暁則保健医療推進課長、今井真人国民健康保険課副課長、佐藤昌美高齢・障害医療課長、小谷野和久保健総務課長、波田野泰弘保健予防課長、上野秀人食品・環境衛生課長、堀尚吾健康管理課長、嶋崎鉄也健康づくり支援課長、齋藤匡央防災危機管理室副参事、羽根尾清隆障害者福祉課長、冨田雅子地域包括ケア推進課副課長、吉田周一高齢者いきがい課副課長、永島芳典保健医療推進課副課長、阿部真哉保健医療推進課主査、水村卓保健医療推進課主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱書の交付 3 部長あいさつ 4 委員紹介 5 職員紹介 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長・副会長の選出 (2) 第二次川越市保健医療計画の進行状況について (3) 医療に関する意識調査について (4) その他 7 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第1回川越市医療問題協議会次第 ・令和元年度第1回川越市医療問題協議会座席表 ・川越市医療問題協議会委員名簿 ・川越市医療問題協議会条例 ・第二次川越市保健医療計画(概要版) ・〔資料1〕「第二次川越市保健医療計画の進行状況について」 ・〔資料2〕「医療に関する意識調査(設問対照表)」 ・台風第19号について(保健医療部) ・第二次川越市保健医療計画 第4章から第5章(抜粋)

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 ・傍聴者確認 → 傍聴希望者なし ・医療問題協議会の説明 <p>2 委嘱書の交付</p> <p>3 部長あいさつ</p> <p>4 委員紹介</p> <p>5 職員紹介</p>
事務局	<p>6 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過半数の委員出席による会議の成立を報告
事務局	<p>(1) 会長・副会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮議長は、慣例により年長者にお願いしており、船津委員に仮議長をお願いすることとしてよろしいか。 →異議なし <仮議長の選出>
仮議長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長の選出方法について、意見はあるか。 ・指名推薦ではどうか。 →異議なし
仮議長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の推薦はあるか。 ・藤田委員を推薦したい。 →異議なし <会長は藤田委員に決定> <p>【会長あいさつ】</p>
議長（会長） 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長の推薦はあるか。 ・市議会議員委員の協議による選出ではどうか。 →異議なし <p>【暫時休憩】</p> <p>【市議会議員委員は別室に移動】</p>
議長 委員	<p>【会議再開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議の結果を報告願いたい。 ・大泉委員を副会長に推薦したい。 →異議なし <副会長は大泉委員に決定> <p>【副会長あいさつ】</p>

事務局	<p>(2) 第二次川越市保健医療計画の進行状況について</p> <p>事務局が、第二次川越市保健医療計画（概要版）及び資料1に基づき説明。</p> <p>【説明に基づく質問・意見】</p>
委員	<p>○社会問題になっている引きこもりの方が高齢になってきていることが問題になっている。また、引きこもりと発達障害に関係があるとメディアに取り上げられているが、市としてはどのような対応をしているのか。</p>
事務局	<p>確かに引きこもりと発達障害の関係性についてテレビで取り上げられている。発達障害も育ってきた環境などと同様に引きこもりの原因の一つではあるが、それ独自の対応は行っていない。ただし、引きこもりの原因により対応方法は異なり、保健予防課だけでなく関係機関と連携を取るなどしている。</p>
委員	<p>○埼玉医大から他の病院に外勤や当直の医師を派遣しているが、働き方改革により、労働時間を制限されると医師の確保が厳しい状態になる。他の病院が医師不足により救急患者を受け入れられなくなる可能性がある。</p> <p>○交通事故による医療費を国民健康保険で支払うことがあるが、本来国民健康保険で支払われた医療費は、損害保険会社に求償できる。川越市に以前確認したところ、そのデータがないとのことであった。市の財源確保という観点から求償は重要だと考える。現在、求償率はどれくらいなのか。</p> <p>○AEDの普及推進計画に係ることで、当病院は、学校に普及に行っているが、当初教育委員会は非協力的だった。今では、協力的だが、AEDの普及に関して市の中での連携がなされていないのではないかと感じた。</p>
事務局	<p>医師の人員確保計画というのが医療法改正の中であり、埼玉県も計画策定が義務化されている。埼玉県でも医師の人員確保と働き方改革の議論がなされており、市も国や県の動向を注視しながら取り組みたいと考えている。</p> <p>消防局が中心となってAEDの普及活動を行っている。市もAEDが救命率を高める上で効果的であると考えている。消防局救急課や教育委員会と連携して普及活動に取り組みたいと考える。</p>
委員	<p>○埼玉県動きを注視することだが、当直医が減少すると医師派遣業者の医師に頼ることになるが、人件費が高額になる。市からの財政的な補助を望む。</p>
事務局	<p>損害保険会社への求償は、しっかり行うべきと考える。求償率のデータは、今日は持ち合わせていない。</p>

委員	○求償率を提示してほしいという話は5年以上前からしている。 市単独ではなく、埼玉県と協力して求償に力を注いでいただきたい。
委員	○医師や看護師などの医療従事者の数や患者数など市内の医療機関の状況把握が必要だと考える。 ○国民健康保険の都道府県への広域の運営になった。規模が大きく医療機関の数も多い川越市は発言力は大きいと思われる。川越市が実態把握をして埼玉県に状況を説明すれば、その影響は大きいと思われる。
事務局	市内の医療機関の状況の把握とその分析は重要であると考え、鋭意努めてまいりたいと考える。 救急指定している医療機関には補助金を出させてもらっているが、そういったことを含めて今後どのような医療体制を確保していくのか研究していきたい。
委員	○市は実態を把握してそれを共有して、情報を発信できるような準備をすることが重要である。
委員	○川越市は市立病院を保有していない。埼玉県は県立病院を運営しているが、毎年赤字続きで一般会計から繰り入れてその補てんをしている。川越市は市立病院がない為、市立病院を保有している他市に比べたら財源に余裕があるはずではないか。
委員	○求償率について今後しっかり確認していきたい。 ○市内部の連携をより密にとってほしい。
委員	○求償率が不明とのことだが、交通事故で国民健康保険が使われた後の事務処理はどこが管理しているのか。
事務局	国民健康保険課で管理している。
事務局 委員	○求償の事務も担当しているのか。
事務局 委員	保険給付担当が事務を行っている。 ○第二次川越市保健医療計画の状況についての中の評価がAやBが多いが、市ではこれをどのように受け止めて来年度以降に反映させていくのかの見解を知りたい。
事務局	計画の進行状況は、担当課による自己評価である。AやB評価の事業は、今後も継続して行っていくものとする。

委員	<p>評価の方法を今後は考え直していただきたい。 事業を実施しただけでB評価とすることは、今後改めてほしい。</p> <p>(3) 医療に関する意識調査について 事務局が、資料2、「医療に関する意識調査（設問対照表）」に基づき説明。 【説明に基づく質問・意見】</p>
委員	<p>○かかりつけ医やかかりつけ薬局を知っているかどうかだけではなく、かかりつけ医やかかりつけ薬局をもつ方向性を示すようなアンケートを入れてほしい。</p>
事務局	<p>今後、ご意見を踏まえて実態を把握することに努めたい。</p>
事務局	<p>かかりつけ医等の定義をアンケート内で示し、啓発も併せて行いたい。</p>
委員	<p>○健康まつりなどで説明をしているが、できるだけ効果の出るような施策を取ってほしい。</p>
委員	<p>○かかりつけ薬局に薬がなく、病院の近くの薬局に戻ったことがある。かかりつけ薬剤師を持ちたくても持てないという現状もあると感じた。</p>
委員	<p>○薬局としても薬を揃える努力はしているのでご理解いただきたい。</p> <p>(4) その他 事務局が、「台風第19号について（保健医療部）」に基づき説明。 【説明に基づく質問・意見】</p>
委員	<p>○川越市は、DMATの出動要請をしなかったが、顔の見える環境をつくって連携をとることは次の災害発生時に活かすことができる。今後は遠慮なくDMATを要請していただきたい。</p>
委員	<p>○意識調査の中で、夜間休日診療所やかかりつけ医を知っているか知らないかで1問設けるのではなく、受診歴やかかりつけ医がいる・いないの設問に「知らない」という選択肢を設けてはどうか。</p>
事務局	<p>持ち帰って協議したい。</p>

委員	<p>○台風 19 号について報告があったが、寺尾地区と下小坂地区で状況は異なると思われるが、消毒の状況と現在の衛生環境を知りたい。</p>
事務局	<p>家屋等の消毒件数は、11 月 1 日現在、床上消毒が 118 件、床下消毒 352 件、家屋周囲の消毒 345 件で、合計 815 件になっている。要望があれば、複数回伺って消毒を行うので延べの件数になる。</p> <p>寺尾地区の被災家屋等には、2 年前の教訓を生かして、10 月 15 日に 10 の委託造園業者従業員と市職員の合計 32 名で全戸訪問し、309 件の消毒を行い、留守宅には「希望があれば消毒を行います。」という手紙を投函した。</p> <p>下小坂地区の被災家屋等については、災害発生後およそ 2 週間ぐらいから本格的に消毒を開始し、現在も事業所の消毒を行っている。</p>
委員	<p>○最後の一人まで漏れなく対応することが必要となると思うが、対応が必要な方とのやりとりは滞りなくできているのか。</p>
事務局	<p>寺尾地区及び下小坂地区の被災家屋等については、全戸回っている。他の地区も含めて漏れのないよう消毒を行っていきたい。</p> <p>7 閉会 閉会 16 時 00 分</p>